



目次

新医学部分館長挨拶	1
新入生のみなさんへ	2
報告・H21年度、こんなことやりました。	3
はなちゃんに行く！愛媛大学中央図書館ツアー	5
図書館からのお知らせ	8
図書館日誌	9

挨拶

新医学部分館長 大澤 春彦

かつて大学の図書館のメリットの一つは、他の人がアクセスできない多くの情報を得ることができることだったと思います。しかし、インターネットで世界中がつながっている現在、そのようなメリットは急速になくなってきています。私は、現在の愛媛大学図書館医学部分館の役割として、最先端の電子ジャーナル情報にアクセスできること、集中して効率よく勉強できる場を提供すること、歴史的あるいは学問的に意義の深い蔵書を有することが重要なのではないかと考えております。

私が学位取得に向けて研究を始めたころは、指導教官から、毎週 1 回は図書館に行き、重要な医学研究雑誌の目次をチェックし、要約や全文をコピーして読むように言われ、実践しておりました。また、自分の専門分野の論文の参考文献を孫引きし、知識を体系化するという作業にかなり時間がかかりました。今では、主要雑誌の目次は E-メールや RSS フィードでリアルタイムにメールソフトに入ってきます。定期的なキーワード検索の結果も同様に入手可能です。これらを、自宅にいないことができるという以前では考えられないような時代になりました。しかし、ふと思えば、このようなことは、一般の方でも同じように利用可能です。患者さんの中には、医学の一流誌を読んで、最新の治療を希望される方もでてきています。

そこで、図書館の意義としては、より質の高い情報に瞬時にアクセスできる環境を提供することが考えられます。多くの雑誌では、**advanced on-line publication(AOP)**として、受理直後の論文内容をダウンロードできるようなシステムを持っています。この情報は、研究者にとっては大変重要なものであり、時には紙一重の差で競争の勝敗が決まることさえあり得ます。特に、**Nature**の姉妹誌をはじめとするトップジャーナルのア

クセス権はより充実させる必要性があると感じております。

私の学生時代、図書館は、学生が集中して勉強できる空間を提供してくれる場でもありました。1-2 時間でも空き時間があれば、ちょっと立ち寄って気軽に勉強できる、あるいは、試験前などには何時間でも集中して勉強できる場として機能していたと思われます。現在、医学部分館はスペースが限られ、新しい書物の閲覧や、勉強するためのスペースが充分でないように見受けられます。これは、蔵書のあり方とも関連しますが、改善していく意義のあることかと存じます。

自明ながら、蔵書の質と量も大切なことです。ただし、収容スペースの問題もあり、全てを永遠に保存していることは不可能です。特に医学部分館の特色として大切なもの、歴史的に重要なものはもちろん大切に保管し、利用できるようにしておくのが理想的です。一方、滅多に利用する可能性がないものを管理し続けるのは費用対効果の点からも検討の余地があるように思います。他の大学で管理されていて、必要時に取り寄せが可能なものは、整理していくのが望ましいと感じております。

ただ、総論はたやすいのですが、具体化が困難な事柄が多いことも事実です。皆様の御意見を伺いながら、委員会等の議論を経て、改善していければ幸いです。不慣れで御迷惑をおかけすることもありかと存じますが、今後とも、御指導御鞭撻のほど、よろしく申し上げます。少しでもより利用者のお役にたてるような医学部図書館になっていくことを祈りつつ、御挨拶とさせていただきます。



新入生の皆さんへ

ご入学おめでとうございます

資料整備チーム 和田 菜穂子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！キラキラがいっぱい詰まったキャンパスライフ、いよいよスタートですね。見るもの、聞くこと、出会う人……すべてが新鮮で、期待と緊張が半分半分の4月。もう素敵な出会いはありませんか？

「一期一会」という言葉は人にも本にもあてはまると思います。図書館の本って、なんとなく、時の流れとは無関係にずっとその場にあるという感じがしますよね。だから「いつでも読めるし、別に今でなくてもいいや」なんて思っちゃったり。でも、読む側である「人間」の時間は常に流れているわけだから、その出会いは一瞬一瞬、違ったものになるはず。しかも、本は歩いてきてくれません。幸せと同じです。だからこっちから歩いていかなきゃ（図書館まで）！

ところで、本を読むというのは、とても贅沢な行為だなあと、この年になってつくづくそう思います。自分好みの、欲しい情報を好きなだけゲットできるインターネットは、例えていうなら「バイキング」「buffet」じゃないかしら。お腹い

っぱい食べられて、お手軽なスタイルです。それに対して、読書は「懐石料理」や「フルコース」。料理人＝著者の用意したお皿を、出される順番どおりに、じっくりと味わいながらいただいていく＝読み進めていくイメージです。その根底に流れる哲学や主張を感じ取り、理解する楽しみがあるところも似ているかも。心の贅沢って感じでしょうか？ ああ、私も学生時代にもっと心の贅沢しとくんだった……っと、ここで愚痴ってもしようがない。

というわけで新入生のみなさん。そんな贅沢体験ができる図書館という場所、フル活用&堪能しない手はありません！ 著者の思考や思想に寄り添って本を読み進めるということは、辛抱強さと理解力を養うのにも最適。大学の講義や講演会、普段の人間関係にもきっと役立ちますよ。

最後に、みなさんの愛媛大学での毎日が、楽しく充実したものになるよう心から願っています。



報

告

H21年度, こんなことやりました。

愛媛大学地域創成研究センターシンポジウム2009 愛媛大学図書館企画展2009を開催

地域創成研究センターと図書館では、地域貢献事業の一環として、平成 21 年 10 月 3 日（土）に今治市で、愛媛大学地域創成研究センターシンポジウム 2009・図書館企画展 2009 「講談『猿飛佐助』と今治藩家老 江島家文書展」を開催しました。

「江島家文書」とは、今治藩の家老職を務めた江島家の資料で、かつての今治の姿を知る一級資料であり、天保年間（1830-1843）の伊予今治城図・江島家系図から今治の行政資料までも含む価値ある文書です。

今回、上方講談師である旭堂南海さんによる「講談『猿飛佐助』」を参加者に楽しんでいただいた後で、近世文学の研究者 大阪大谷大学 高橋圭一教授 をパネラーとして招聘したシンポジウムを開催しました。「佐助」は、今治出身の山田阿鉄一族が執筆した立川文庫で人気の登場人物であり、「今治で『佐助』をブームにし、観光や町おこしの起爆剤にはしてはどうか」などと盛り上がりました。

また、今治出身の落語家 瀧川鯉太さんと愛媛大学の教員が、ギャラリートークで「江島家文書」を分かりやすく解説しました。

当日は約 150 人の参加者が熱心に聞き入り、ギャラリートークの後は、展示の「江島家文書」について、参加者が質問する姿があちこちで見られました。



＜熱気を帯びるシンポジウム＞



＜江島家文書に見入る来場者＞

平成21年度愛媛大学図書館学術講演会の実施

第 1 部『私にもできた リポジトリシステム』

第 2 部『活性化の一翼を担うー新たなる図書館の発進ー』を
テーマに学術講演会

図書館では、毎年図書館活動の活性化と職員のスキルアップを図るべく学術講演会を開催しています。

23 回目となる今回は別府大学附属図書館長 石井保廣氏



＜機関リポジトリを説明する石井保廣氏＞

(元愛媛大学附属図書館事務部長)をお招きし、第1部『私にもできた リポジトリシステム』第2部『大学活性化の一翼を担うー新たな図書館の発進ー』をテーマとして、2月8日に開催し、県内7機関の図書館職員34人の参加がありました。

第1部では、機関リポジトリについて携わったことのない職員にも分かりやすい、かみ砕いた内容でご講演いただき、第2部では、厳しい運営状況にある大学図書館をいかに元気にしていくか、ユーモアを交えた経験談をお話いただきました。第1部、第2部とも大学図書館職員として承知しておくべき喫緊の課題であり、参加者はみな熱心に聞き入っていました。

講演後の意見交換では、機関リポジトリの運用や、別府大学附属図書館の様々な試みについてなど、会場から質問が頻出し、今後の大学図書館運営について、活発な議論が交わされました。

報告 H21年度、こんなことやりました。



<熱心に講演を聴く図書館職員>

第1回ブックリユースEcoプロジェクト実施

愛媛大学図書館では、2月15日(月)～3月19日(金)の期間、中央図書館2F特設スペースにおいて、廃棄図書約1万冊の、ブックリユースEcoプロジェクトを実施しました。

このプロジェクトは、受入から20年以上が経過した蔵書のうち、重複や改版等により不用となった廃棄図書の再利用を目的とするプロジェクトで、今回は愛媛大学の学生、教職員の方を対象に実施しました。

図書約2000冊の入れ替えが行われる毎週月曜には、開場時間の9時前から、多くの方が図書館入り口前に集まり、午前中のうちに約1000冊の図書をお持ち帰りいただくなど、大変好評を博しました。5週間で合計9216冊の図書が、新しい利用者の元へと譲渡されました。



<リユースに来られた留学生>



<人で混み合ったリユース会場>



<一段落ついたリユース会場>

はなちゃんで行く！ 愛媛大学中央図書館ツアー

図書館広報部長のはなちゃんが、楽しく図書館をご紹介します

GO!!

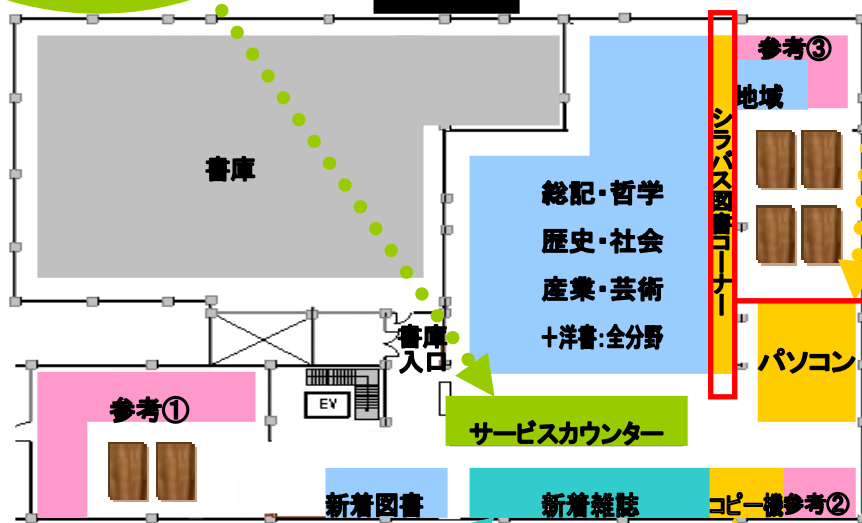


書庫に入る前に、カウンターで手続きをしよう。



インターネットを利用するには、メディアセンターのパスワードとアカウントが必要。

2F



隣接の参考書は1階にも並びます



棚内部にバックナンバー(1年分)があるよ。

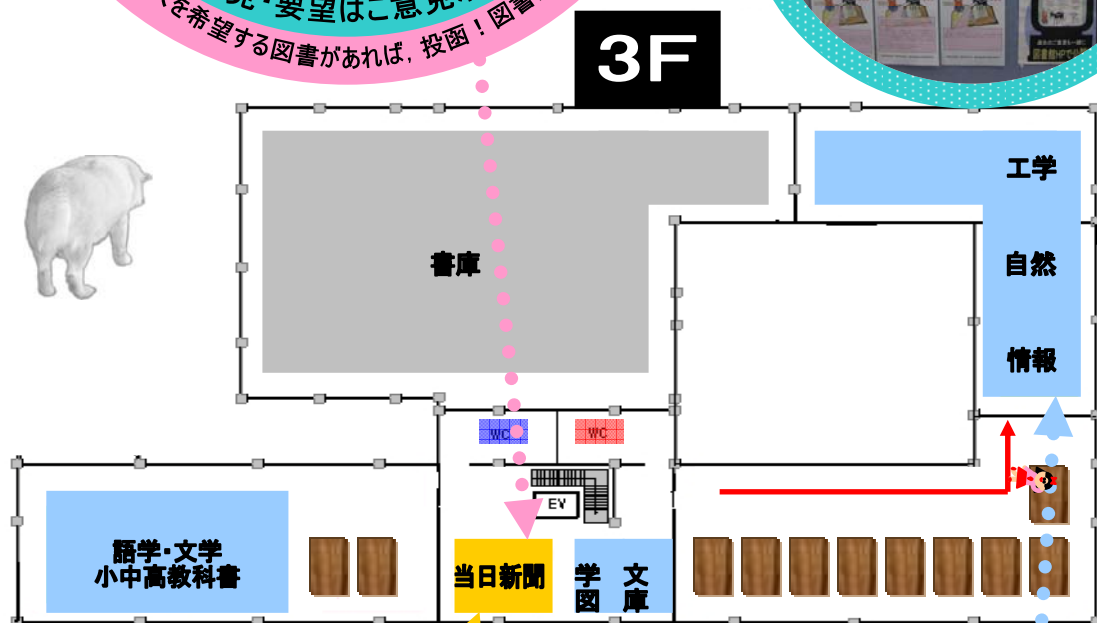
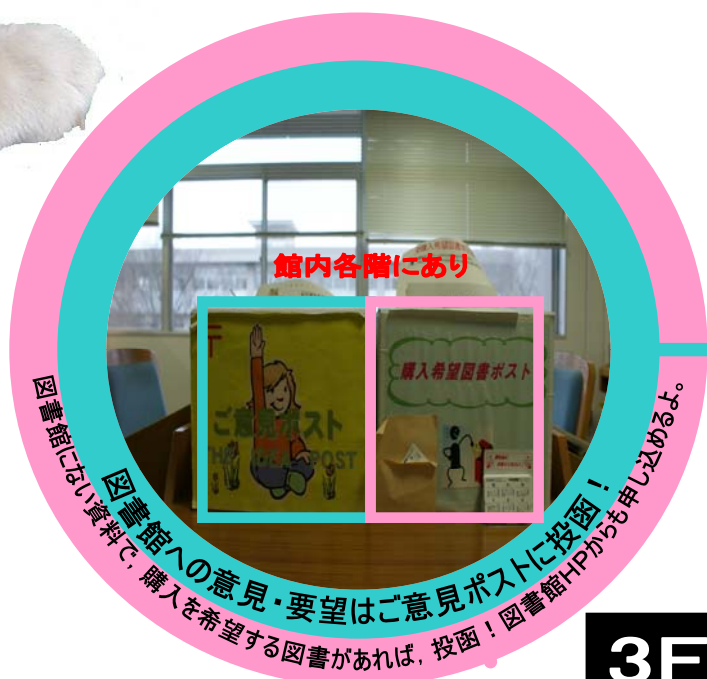


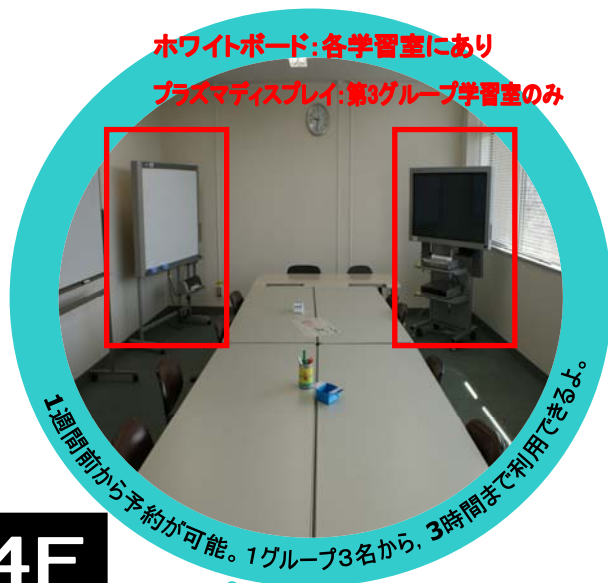
コピーの前に、複写申込書に記入をして、提出箱に用紙を入れてね。



WAN ポイント

ご意見への回答は、2F 掲示板と
図書館HPから見ることができ
るよ。





WAN ポイント



2F～4F（書庫を除く）全エリアで

無線 LAN が利用できるって知っ

てた？愛媛大学の学生は、無線

LAN 対応のノート PC があれば特

に申請なく利用 OK！利用につい

てわからなければ、カウンターで

気軽に聞いてみよう。



図書館に来てみんけん！

図書館からのお知らせ

中央図書館

○ 大学院生のための図書館ガイダンス 『1時間で文献入手』

研究には先行研究の調査が欠かせません。図書館を利用すると、効率的に調査が進みます。あなたの図書館力を再点検してみませんか？

開催日時（①～⑩は同じ内容）

月/日 時間	4/12 月	4/13 火	4/14 水	4/15 木	4/16 金
10:30～ 11:30	①	③	⑤	⑦	⑨
15:00～ 16:00	②	④	⑥	⑧	⑩

申込期限日：前日まで

申込窓口：中央図書館 2F サービスカウンター
又は電子メール

メールアドレス：gakujutsu@lib.ehime-u.ac.jp

（件名）ガイダンス申し込み

（本文）代表者氏名・参加日・時間・人数

申し込みのない日は実施しません。

*平成22年度・前学期 教育学研究科「学校教育の今日的課題」の授業中に同内容を行います。

医学部分館

○ 新医学部分館長就任

平成22年2月1日付けで、大澤春彦教授(分子遺伝制御内科学)が分館長に就任されました。任期は平成24年1月31日までです。よろしくお願いいたします。

また、これまでご指導いただきました山本晴康前分館長に、厚く御礼申し上げます。

○ ガイダンス予定

4月1日（木） 15:20-15:40

研修医オリエンテーション

「図書館の利用法と文献の入手方法について」

4月20日（火） 18:00-19:30

医学系研究科医学専攻1回生『基礎研究方法論』

「研究情報収集法と図書館利用法」

4月28日（水） 13:00-14:00

医学科5回生『preBSL』

「文献検索法」

5月7日（金） 14:40-16:10

医学科・看護学科新入生セミナー

「図書館利用ガイダンス」

農学部分館

○ ガイダンス予定

5月7日（金） 12:50-14:20

農学部新入生セミナー

「図書館利用ガイダンス」

図書館日誌

10 月 3 日	図書館企画展「講談『猿飛佐助』と今治藩家老江島家文書展」(今治地域地場産業振興センター)
7 日	台風 18 号の影響により、夜間のみ臨時休館(全館)
15 日	平成 21 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議(徳島大学)
20 日	学術情報リテラシー教育担当者研修(大阪大学)～23 日
28 日	NAIST 電子図書館学講座(奈良先端科学技術大学院大学)～30 日
11 月 3 日	中央図書館臨時休館
9 日	古典資料講習会(一橋大学)～13 日
10 日	第 2 回医分館図書・情報委員会
19 日	第 45 回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会～20 日
28 日	農分館臨時休館
12 月 7 日	第 3 回図書館委員会
1 月 18 日	医分館看護学科 3 回生文献検索ガイダンス～19 日
21 日	国大図協地区助成事業「情報リテラシー教育担当者研修」(広島)～22 日
26 日	平成 21 年度中国四国地区図書館地区別研修(愛媛県立図書館等)～29 日
2 月 8 日	平成 21 年度愛媛大学図書館学術講演会(講師:石井保廣別府大学附属図書館長)
10 日	中四国地区協会事業委員会総会(岡山大学)
15 日	ブックリユース Eco プロジェクト～3 月 19 日
19 日	DRF ワークショップ(高知工科大学)
3 月 16 日	第 4 回図書館委員会
17 日	第 3 回医分館図書・情報委員会



愛媛大学図書館「図書館だより」第 88 号 2010 年 4 月 1 日発行

編集:館報編集委員会

発行:愛媛大学図書館 〒790-8577 松山市文京町 3 番 TEL (089)927-8845